香川県教職員連盟機関誌
発行所：香川県教職員連盟
発行者：地下　浩文

〒760-0004
高松市西宝町２丁目４番６０号
香川県教育会館６０２号

TEL (087) 835-2721
FAX (087) 835-2723

http://www.kakyoren.com/
E-mail:info@kakyoren.com

毎月10日発行　定価１部50円
（年間1,000円　送料とも）

会員の購読費は会費の中に含む

今を生き抜き未来に活きる力を育む教育実践

―主体的にたくましく学ぶ子供の育成を目指して―

各分科会で熱心に討議、研修を深める！

全日教連教育研究全国大会（宮崎大会）開催

八月二（土）、三（日）日の両日、第三一回全日本教職員連盟教育研究全国大会が、宮崎県宮崎市のシーガイアコンベンションセンターを会場に開催され、延べ一三〇〇名の会員が全国各地より集まった。香教連からは、地下浩文委員長以下二九名が参加した。大会初日は、七つの分科会に分かれて、各県提案者の実践発表や各分科会の助言者による助言者ゼミナールが開催された。二日目は、全体会に引き続き、記念講演が行われ、北京オリンピック銅メダリスト、朝原宣治氏が、「夢を追いかけて～諦めなければ夢は叶う」と題して講演を行った。来年度は、香川県高松市サンポートホール高松をメイン会場に八月八日（土）、九日（日）の両日に開催される。

香教連は、平成二六年三月に結成四〇周年を迎えた子供中心の教育を目指し、健全なる批判力を持つ、県内最大の教職員団体です。

香教連から三名の先生が実践発表

第一分科会「学習指導Ａ」

高松市立浅野小学校・葛西秀樹教諭は、「地域の伝統文化を生かした開かれた学校作り　みまや焼きの学習・行動作業を通して」と題し、前任校である高松市立檀紙小学校での取り組みを提案を行った。葛西教諭は、子育てとは、学校、保護者、地域が別々に考えるより、つながりを持ち子育てに関わる方がより効果的であるが、子育てという共通の目的はあっても共通の手段がなければ三者がつながることは困難であると考え、共同の活動を介して三者が手を取り合い子育てはできると考え、実践を行った。学校は、学習や体験活動の中に保護者や地域が関わりながら取組を進め「開かれた学校」を目指す。保護者は地域理解を深め、地域を大切に思い他者とのつながりを深め、保護者自身の成長へつなげる。地域は伝統文化継承の推進役として学校や保護者と連携し地域を活性化し、地域の教育力を高める。地域の伝統文化を通して、学校、保護者、地域社会が一体となり子供たちを育てる実践発表であった。

　助言者の高橋史朗明星大学教授からは「地域と結びついて伝統文化を継承していくことが子供たちの地域への誇りし、自尊感情の育成に大きな効果がある。」とご助言をいただいた。

提案を行う葛西教諭

第六分科会「学校マネジメント」

宇多津町立宇多津中学校・藤田雅也教諭は研究主題を「生徒の主体的な学びづくりのための組織的な教育活動の改善－教職員の協働を通して－」とし提案を行った。

　藤田教諭は、自校のアセスメントデータを基に、全教職員参加のワークショップ型研修を行い、学校課題「主体的に学ぶ生徒の育成」を共有した。これをどのように「自分づくり」させていくのかという教職員の課題として捉え、従来の授業者主体の授業から学習者中心の学び合いを取り入れた授業改善を行った。この改善には、生徒を取り巻く肯定的な人間関係づくりが、主体性を発揮する土台となると藤田教諭は考えた。

　生徒の実態から見えた課題改善に向けて全教職員で取り組み、実態を再認識するサイクルを通して教職員の協働性や同僚性を高めるという実践発表であった。

　助言者の天笠茂千葉大学教授より、「安心・安全な集団づくり」をして欲しいと保護者や地域の方々は願っている。それに学校がどう答えていくかが大事である。また、「学校は協働化していこうとする集団ででなくてはならない。」そのためにはリーダーや問題意識を持った個が必要であるとご助言いただいた。

提案を行う藤田教諭

第七分科会「特別支援教育」

観音寺市立観音寺小学校・小川培江教諭は研究主題を「支援を要する児童（発達障害等）の望ましい育ちに向けて～学力向上に向けた、特別支援コーディネーターの関わり」とし、提案を行った。小川教諭は、学力低位層の児童の学習効果をより高めるためには授業技術を磨く一方で、一人一人の状況を見極め有効な指導方法を考える子供研究が必要不可欠である。そして、発達障害等の支援を要する多くの児童の望ましい育ちについては、全教職員の共通理解と共通実践への行動化が鍵となる。そこで共通理解をより深化させ、各教室で個々の児童を行うことで初めて学習効果が表れると考え、実践を行った。

　全教職員による子供研究の場を設定し、支援を要する児童の共通理解を図ったり、特別支援教育コーディネーター便りを核として、共通実践に向けた具体的な取り組みを行ったりした。また、ミニケース会や教育相談の充実を通して、学校の取組に対する理解や協力を促す家庭と学校の連携の強化を図る等の実践を報告した。

　助言者の石塚謙二豊能町教育委員会教育長からは、「担任だけでなく多くの教員で関わっていくこと、幼小中と系統的に支援していくこと大切である。」とご助言いただいた。

提案を行う小川教諭

教研大会参加者感想

講演する朝原氏

・朝原宣治氏の講演を聞き、諦めず続けることの大切さを学ばせてもらった。また、元気ももらった。幼少の頃の話の中で、恩師の話が出ていたが、教師、指導者の存在や影響の大きさを感じた。（小学校男性）

・朝原氏の講演はとても聞きやすく一言一言に内容の重みを感じた。子供一人一人がもつ可能性や主体性を大切にし、より開花させるために教師として創意工夫を重ねていかなくてはとの思いを新たにした。（小学校男性）

・幼少時代からのきちんとした食生活や体を鍛える事が大切なのだと思いました。いろいろな人生がありますが、それを聞いて子供たちに伝えるのが私たちの役目です。（小学校女性）

・幼少期から陸上をしていたわけではなかった朝原氏がオリンピックで銅メダルを手にできた理由は、人への感謝の心、向上心、困難にも屈しない強い精神力があったからだと思いました。そんなプラスの出会いを子供や保護者としていきたいと思いました。（小学校女性）

香教連参加者

メトロノーム

八月に入り、まず、八月二日から三日にかけて宮崎県宮崎市で開催された全日教連教育研究全国大会が台風一二号、そして八月一〇日に開催予定の香教連シルクドソレイユＯＶＯツアーと香教連第七回講師部研修会は、台風一一号と珍しく二週連続で香教連行事が台風の影響を受けることとなった▼台風一二号の方は、全国各地から宮崎市に集った教職員の同志に差ほど影響を与えることなく過ぎ去ったが、台風一一号の方は、香川県を直撃し、ＯＶＯツアーは中止、講師部研修会は、二次試験までに期間が無いことを考慮し、午後からの半日研修に変更し、開催した▼自然のことは、人間の意志でどうする事もできないとわかっているが、完売御礼のＯＶＯツアーが実施できなかったことは、台風の影響を考慮し、参加者の安全を第一に考えた決断であったとはいえ、観劇を楽しみにされていた参加者の皆様に申し訳ない気持ちでいっぱいである▼今後も香教連では、講演会、研修会、福利厚生行事等、数多くの行事を予定している。様々な行事に会員の皆様の参加を心よりお待ち申しあげる▼香教連ホームページのリニューアルが完了しました。一度、アクセスしてみてください。

（じ）

人事院が月例給・ボーナスともに7年ぶりの引上げを勧告！

人事院は八月七日（木）一般職国家公務員の平成二六年度の給与とボーナスについてともに引き上げるよう国会と内閣に勧告した。

給与勧告のポイントは以下の通りである。

月例給、ボーナスともに七年ぶり引上げ

民間給与との格差（〇・七二％）を埋めるため、世代間の給与配分の観点から若年層に重点を置きながら俸給表の水準の引上げ

ボーナスを引上げ（〇・一五月分）勤務実績に応じた給与の促進のため勤勉手当に配分

俸給表や諸手当の在り方を与制度の総合的見直し

地域の民間給与水準を踏まえての俸給表の水準を平均二％引き下げ

地域手当の見直し

職務や勤務実績に応じた給与配分

要望書を渡す地下委員長

香川県教職員連盟では、七月二三日（水）、香川県人事委員会に対して平成二六年度教職員給与・勤務条件等に関する要望書を提出した。主な要望内容は、教職員給与の増額、中高齢層教職員の給与水準の引上げ、期末勤勉手当の支給率の引上げ、教職員の査定昇給制度の見直し、部活動手当を含む教員特殊業務手当の増額等である。

今後、香教連は、人事院勧告を受け、月例給ならびにボーナスの引上げを行うこと、俸給表の水準の引下げ阻止について、香川県人事委員会や関係諸機関への要望を続けていく。

四国教育合同研修会開催！

四国四県の小・中・高教諭が熱い議論

熱く語る前田氏

七月二七日（土）、平成二六年度「四国教育合同研修会」が高松国際ホテルにおいて、四国内日本教育文化研究所加盟団体と四国四県高等学校教職員組合連絡協議会（四高連）との合同研修会として開催された。香教連参加者一二名を含め、四国四県から約五〇名の会員が参加した。開会行事の後、講師に高松ファイブアローズヘッドコーチ・前田顕蔵氏の講演会と、小、中、高校の先生方による、グループ討議を行った。講演は、「グローバル人材の育成に関わる一考察」の演題で行われた。前田氏は高校卒業後、アメリカの大学へ進学した時の体験や、ファイブアローズの選手たちとの関わりから得た、グローバル人材の育成に必要な視点や考え方について話をされた。

講演会の後、「グローバル人材の育成」を中心課題にグループ討議が行われた。討議の中では、英語の教科化について、自己肯定感を高めるために、コミュニケーション能力を育てるためになどについて熱い議論がなされた。普段は、小、中、高校と校種の違いにより、同じ研修会に参加する機会が少ない教員が、同じ課題に対して議論を深め、共通の意識を持つことができた。

グループ討議の様子

また、講師の前田氏には懇親会にも出席いただき、参加者からの質問にも丁寧に答えていただいた。「四国教育合同研修会」の開催意義を深く感じる一日であった。

香教連セミナーのご案内

香教連教育セミナーの講師に明石要一氏をお迎えし、開催することが決定した。

日　時：　9月27日（土）
　　　　　9:00〜12:00

場　所　香川県教育会館ミューズホール

講　師　明石　要一　氏
（千葉敬愛短期大学学長）

講師略歴

専門は教育社会学。現在、文部科学省中央教育審議会委員、同省中央教育審議会生涯学習分科会会長、同省中央教育審議会スポーツ・青少年分科会委員等を務め、子どもを取り巻く環境が大きく変化している現代社会において、子ども・教師の研究に精力的に取り組んでいる。2013年３月千葉大学を退官。

※　参加申込は、香教連新聞本号同封の案内パンフレットを参照し、各単組事務局又は香教事務局までお申込みください。

※　申込締切　９月19日（金）

第8回香川県「親守詩」優秀作品発表会ご案内

香川教文研とモラロジー研究所の共催で「第8回香川県親守詩優秀作品発表会」が開催される。

本年度の応募作品数は、7,000作品を超えた。

現在は、教文研委員による第1次審査を終え、最終審査を行っている。本年度の優秀作品にはどのような作品が選ばれるか、今から楽しみである。

日時　９月13日（土）
　　　13:00〜16:00

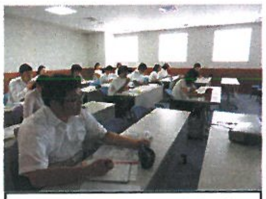
場所　香川県教育会館
　　　ミューズホール

内容　記念講演
　　　講師　片山　道則　氏
　　　（モラロジー研究所社会教育講師）
　　　演題「未定」
　　　優秀作品の発表と表彰

※　参加ご希望の方は、香川教文研までご連絡ください。

＜香川教文研＞
電話　087-837-8480
FAX　087-835-2723

第6回講師部研修会開催


熱心に講義を聞く参加者

７月２７日（日）、サンポートホール高松６階63会議室他において、第６回香教連講師部研修会を開催した。今回は「平成27年度香川県公立学校教員採用選考試験」二次選考試験対策の研修会として実施した。香川大学准教授の谷本里都子先生の講話をはじめ、香教連本部役員、単位団体会長等が研修会講師として、採用選考試験合格と教職員の資質向上をサポートすべく熱心な演習が行われた。模擬授業演習では、短い時間の中で、自分の考えを伝えることができるように構想を考え、授業を展開した。模擬授業後は、受講者同士で意見を交わしたり、講師の先生からアドバイスをいただき、模擬授業の研修に取り組んだ。

八月を迎えても、鳴く蝉の声はおさまりません。今年は、台風の接近もまだまだありそうです。

残暑厳しき折、お体には十分ご自愛下さい。

七月

一日	高松評議員会（サンメッセ香川）
四日	丸亀・分会長会（丸亀）
五日	講師部研修会⑤（国分寺橋ノ丘総合運動公園B&G海洋センター）
	会長事務局長会③（教育会館）
	中堅教員研修会③（教育会館）
七日	教育七団体懇談会（教育会館）
一〇日	県教委勤務交渉（県庁）
一四日	鳴門支部会（鳴門市）
一九日	事務局長書記長会議（〜二〇日）
二十日	全・給与法制局会議（全日教連）
二三日	県人事委員会要望（県庁）
二六日	教文研委員会（高松国際ホテル）
	四国教育合同研修会（高松国際ホテル）
二七日	講師部研修会⑥（サンポートホール高松）

劇団四季ツアーのご案内

今年度も恒例の劇団四季ツアーを以下のように開催する。

実施日：平成26年10月４日（土）
演　目：劇団四季ミュージカル
　　　　「ライオンキング」
参加費　20,000円（大人1名）
　　　　（豪華ランチバイキング付き）
申　込　**９月１日17:00よりFAXで申込開始　先着30名**

※　参加申込につきましては、同封のパンフレットをご覧いただき香教連事務局までお願いします。

Tel:087-835-2721
Fax:087-835-2723